



とねしょうかわらばん

がっ にちばん
9月22日版

運動会における団体演技の取組が、各学年進められています。

団体演技、いわゆるダンスや民舞といった演技の取組については、もちろん教職員が音楽や振り付けの準備、子どもたちへの指導を行いますが、高学年になりますと「実行委員」が編成され、子どもたち同士での教え合いも行われます。今回は、20分休憩やお昼休みの子どもたちの様子を見て回っていた時に、5年生、4年生の担任が多目的室に各クラスの実行委員を集めさせ、一生懸命振付を伝授している場面に出くわしたので、紹介します。

4年生は、
鳴子を両手にも
持って、よさ
こいソーラン
に取り組んで
います（写真
左）。



5年生は、ソーラン節に取り組んでいます（写真右）。実行委員の子どもたちは、「楽しそうに」でも「真剣に」友だちのために振付を覚えようとしていました。教える担任にも熱が入ります！！



左の写真は、6年生の国語「話し合って考えを深めよう」という単元の学習場面です。この単元では、自分たちで決めた課題についてそれぞれの立場での意見をまとめ、それを話し合うことで考えを深めることが目標です。写真の授業では、話し合い活動を行うことで考えを深めるだけでなく、話し合う場合の自当て「相手に伝わるようにする」ことができているのかについて、他のグループの子どもたちが第三者として感想を記録している場面です。このような学習をすることで「自分の話し方はわかりやすいのかどうか」を友だちからの感想をもとに、客観的にとらえることができます。